

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東名

上場会社名 横浜ゴム株式会社

コード番号 5101 URL <http://www.vrc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 南雲 忠信

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 宮田 哲史

TEL 03-5400-4520

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	429,810	4.2	31,868	6.5	30,339	△2.5	24,919	27.4
25年12月期第3四半期	412,410	4.9	29,921	13.8	31,118	22.2	19,553	12.3

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 29,419百万円 (△42.0%) 25年12月期第3四半期 50,685百万円 (173.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	77.11	—
25年12月期第3四半期	60.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	675,865	300,415	43.4
25年12月期	653,584	279,020	41.4

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 293,055百万円 25年12月期 270,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	10.00	—	12.00	22.00
26年12月期	—	12.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	635,000	5.5	63,000	11.2	60,000	0.8	42,000	20.0	129.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	342,598,162 株	25年12月期	342,598,162 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	19,448,987 株	25年12月期	19,437,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	323,155,072 株	25年12月期3Q	323,195,147 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【添付資料】

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)における世界経済は、中国等の新興国においては景気拡大の速度が鈍化しましたが、米国においては個人消費が堅調に推移し回復基調が続いており、また、欧州では、ウクライナ情勢の問題が継続しているものの、緩やかに持ち直し、総じて成長を維持しました。

わが国の経済は、政府の経済政策、日銀の金融政策の効果が下支えするなかで、雇用情勢に改善が見られたことにより、緩やかな回復基調となる一方で、消費税増税や為替円安による影響等から、消費マインドの先行きは依然不透明な状況が続いております。

タイヤ業界は、国内においては、年初の降雪の影響や消費税増税前の駆け込み需要により、また、海外においても総じて景気回復基調にあり、堅調に推移しました。

こうした状況の中、当社グループは、引き続き内部改善努力と営業体制の強化及び効率化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は4,298億10百万円(前年同期比 4.2%増)、連結営業利益は318億68百万円(前年同期比 6.5%増)、連結経常利益は303億39百万円(前年同期比 2.5%減)、連結四半期純利益は249億19百万円(前年同期比 27.4%増)となりました。

各事業の業績を示すと、次のとおりであります。

① タイヤ事業

売上高は、3,375億14百万円(前年同期比 4.4%増)で、当社の総売上高の78.5%を占めております。

国内新車用タイヤの販売は、自動車生産の増加に支えられ、好調に推移しました。

国内市販用タイヤは、年初の降雪の影響によりスノータイヤの販売が増加したことや低燃費タイヤの「BluEarth(ブルーアース)」ブランドを中心に販売を強化した結果、消費税増税前の駆け込み需要の影響もあり、販売量、売上高ともに前年同期を上回りました。

海外の販売については、中国や新興国では経済成長が鈍化しているものの、引き続き好調でした。また、欧州でも販売が好調に推移し、為替円安効果も加わり、売上高は前年同期を上回りました。

さらに、今後市場拡大が見込まれているインドにおいて、ハリアナ州に建設した乗用車用タイヤ工場を平成26年7月に稼働いたしました。

② 工業品事業

売上高は、734億6百万円(前年同期比 4.3%増)で、当社の総売上高の17.1%を占めております。

ホース配管事業は、建設機械の排ガス規制による駆け込み需要の影響で、国内を中心に建設機械用ホースの販売が好調に推移しました。また、自動車用ホースでは、北米での販売が好調で、輸出についても堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

工業資材事業は、拡大するマリンホース需要に対応すべく、平成26年9月18日、米国パーカー・ハネフィン社から同社が持つイタリアのマリンホース生産販売会社パーカーMHP社(Parker MHP S.r.l.)を買収しました。これにより現在インドネシアに建設中のマリンホース生産工場と併せ、日本、イタリア、インドネシアの3生産拠点体制を確立しさらなる拡販を進めてまいります。売上高については、市況が低迷していた海外向けマリンホースの販売は回復しましたが、コンベヤベルトの海外市況の低迷により、前年同期を下回りました。

ハマタイト・電材事業は、自動車向け接着剤について東南アジア地域での販売が低調でしたが、建築向け接着剤が好調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

③ その他(航空部品事業、スポーツ事業等)

売上高は、188億89百万円(前年同期比 1.0%増)で、当社の総売上高の4.4%を占めております。

航空部品事業は、官需が低調に推移したものの、民需は堅調に推移したため、売上高は前年並みとなりました。

スポーツ事業は、4月以降に消費税増税前の駆け込み需要の反動がみられたものの、「egg(エッグ)」シリーズの好評により、売上高は前年同期を上回りました。また、9月に直営店「PRGR AKASAKA(プロギア・アカサカ)」をオープンしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は6,758億65百万円となり、前期末に比べ222億80百万円増加しました。これは、主に有形固定資産の増加によるものです。

負債は3,754億49百万円となり、前期末に比べ8億86百万円増加しました。これは、未払法人税等の減少があったものの、仕入債務が増加したことによるものです。

純資産合計は、3,004億15百万円となり、前期末に比べ213億94百万円増加しました。これは、主に四半期純利益を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回公表値（平成26年8月8日公表）を修正しておりません。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,178	23,108
受取手形及び売掛金	167,831	146,566
商品及び製品	63,008	83,681
仕掛品	7,272	8,519
原材料及び貯蔵品	20,742	24,578
その他	24,229	29,190
貸倒引当金	△970	△657
流動資産合計	319,293	314,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,767	69,879
機械装置及び運搬具（純額）	77,396	79,885
その他（純額）	63,406	84,323
有形固定資産合計	207,570	234,089
無形固定資産	3,562	3,717
投資その他の資産		
投資有価証券	99,638	99,455
その他	24,042	24,140
貸倒引当金	△523	△525
投資その他の資産合計	123,157	123,071
固定資産合計	334,291	360,877
資産合計	653,584	675,865
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,718	77,399
電子記録債務	6,870	8,148
1年内償還予定の社債	10,000	-
コマーシャル・ペーパー	12,000	13,000
短期借入金	101,447	121,445
未払法人税等	11,035	8,110
役員賞与引当金	132	81
その他	51,854	50,120
流動負債合計	270,059	278,305
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	41,803	31,154
退職給付引当金	18,554	18,519
その他	34,146	37,470
固定負債合計	104,504	97,144
負債合計	374,563	375,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,909	38,909
資本剰余金	31,953	31,953
利益剰余金	173,760	190,880
自己株式	△11,357	△11,369
株主資本合計	233,265	250,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,585	39,565
為替換算調整勘定	4,299	8,248
在外子会社の年金債務調整額	△5,394	△5,132
その他の包括利益累計額合計	37,490	42,680
少数株主持分	8,264	7,360
純資産合計	279,020	300,415
負債純資産合計	653,584	675,865

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	412,410	429,810
売上原価	276,062	285,345
売上総利益	136,348	144,464
販売費及び一般管理費	106,427	112,596
営業利益	29,921	31,868
営業外収益		
受取利息	239	256
受取配当金	889	1,684
為替差益	2,583	-
その他	1,112	1,194
営業外収益合計	4,824	3,135
営業外費用		
支払利息	2,122	2,571
為替差損	-	282
その他	1,505	1,810
営業外費用合計	3,628	4,664
経常利益	31,118	30,339
特別利益		
固定資産売却益	-	4,905
投資有価証券売却益	-	2,614
特別利益合計	-	7,520
特別損失		
固定資産除売却損	189	253
特別損失合計	189	253
税金等調整前四半期純利益	30,928	37,606
法人税等	12,039	13,234
少数株主損益調整前四半期純利益	18,889	24,372
少数株主損失(△)	△664	△547
四半期純利益	19,553	24,919

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,889	24,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,465	989
為替換算調整勘定	11,965	3,727
在外子会社の年金債務調整額	177	261
持分法適用会社に対する持分相当額	188	68
その他の包括利益合計	31,796	5,047
四半期包括利益	50,685	29,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,897	30,109
少数株主に係る四半期包括利益	△212	△689

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	タイヤ	工業品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	323,302	70,402	393,705	18,705	412,410	—	412,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,282	76	1,358	2,538	3,896	△ 3,896	—
計	324,584	70,478	395,063	21,243	416,307	△ 3,896	412,410
セグメント利益	22,028	5,395	27,424	2,497	29,921	△ 0	29,921

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは航空部品事業、スポーツ事業であります。

2. セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	タイヤ	工業品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	337,514	73,406	410,921	18,889	429,810	—	429,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,430	152	1,583	2,474	4,057	△ 4,057	—
計	338,945	73,559	412,504	21,363	433,867	△ 4,057	429,810
セグメント利益	24,818	4,985	29,804	2,053	31,857	10	31,868

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは航空部品事業、スポーツ事業であります。

2. セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。